

第17回全国障害者スポーツ大会（愛顔^{えがお}つなぐえひめ大会）
フットベースボール競技実施要領

1 競技規則

平成 29 年度に適用の全国障害者スポーツ大会競技規則（公益財団法人日本障がい者スポーツ協会制定）によるもののほか、この要領の定めるところによる。

2 チーム

- (1) チーム編成は、監督 1 名、コーチ 2 名以内及び登録選手 15 名以内（男女は問わない。）とする。
- (2) 監督及びコーチが選手を兼ねる場合は、選手名簿に登録されていなければ選手として出場できない。この場合の選手人数は、選手を兼ねる監督及びコーチを含め 15 名以内とする。

3 競技方法

- (1) 試合はトーナメント方式とし、3 位決定戦を実施する。
- (2) 試合は 7 回までとし、試合開始後 60 分を経過した後は、新しいイニングに入らない。
- (3) 同点の場合は、タイブレーカーにより試合を延長して行う。ただし、延長は 2 回を限度とし、それでも同点の場合は、最終出場選手（DP 制を採用した場合は FP 選手を除く。）9 名の抽選によって勝敗を決する。ただし、決勝戦の延長は勝敗が決するまで行う。
- (4) 3 回終了以降 20 点以上の差が生じたときは、得点差コールドゲームとする。
また、降雨等の事情により試合の継続が不可能と判断された場合は、3 回以上の回の終了をもってコールドゲームとする。（決勝戦を含む。）
- (5) 指名選手（DP 制）、再出場（リエントリー制）を採用する。

4 服装等

- (1) 靴は、運動靴又は金属製以外のスパイクとする。
- (2) 危険防止のため手袋を用意してもよい。ただし、投手が使用する手袋はボール以外の色でなければならない。
- (3) 同一チームの監督、コーチ及び選手は、同色・同意匠のユニフォームを着用しなければならない。また、男子は同じ帽子を着用しなければならない。
- (4) ユニフォームの背中に登録番号を付けなければならない。
なお、数字の大きさは、15 cm 四方以上とし、監督は 30 番、コーチは 31・32 番、主将は 10 番とし、他の選手はそれ以外の番号とする。また、ユニフォーム前面（胸下）の番号及び背中の個人名については各チームに一任するが、付ける場合は全員とし、胸下番号は 6 cm 四方以上 12 cm 四方以下で、個人名はローマ字で背中の上部とする。また、ユニフォームの左袖（左肩から 10 cm 程度）に、都道府県・指定都市名を表示すること。

5 試合球

試合球はサッカーボール（ゴム製4号球）とし、主催者が用意する。

6 組合せ

組合せは、平成29年8月に開催する愛顔なぐえひめ大会競技会運営調整会議において、主催者が関係者立会いのもとに代理抽選のうえ決定する。

7 打順表等

- (1) 打順表は、試合開始時刻30分前までに5部作成し、各球場の競技本部へ提出する。
- (2) 攻守順の決定は、打順表提出の時に審判員立会いのもと「コイントス」によって決定する。
なお、打順表は監督会議において競技本部から配布する。

8 開始式・表彰式

- (1) 開始式は、競技開始前に競技会場で行う。
- (2) 表彰式は、競技終了後に競技会場で行い、優勝チームに優勝杯を、3位までのチームに賞状と、それぞれの選手にメダルを授与する。

9 その他

- (1) 平成29年10月27日（金）に監督会議を行い、その場において申し合わせ事項を設けることができる。
なお、監督会議の時間及び場所については別途通知する。
- (2) ベンチは、組合せ表の番号が若いチームを1塁側とする。
- (3) ベンチ内へは、選手、監督、コーチ以外は入場することができない。
- (4) 練習場所については、主催者からの指示に従うものとする。
- (5) 練習球は、各チームが用意する。
- (6) 荒天時他不測の事態が生じた場合の取扱いは、主催者において別途定める。